

平成27年度第3回豊田市図書館協議会 議事録

日 時：平成27年10月15日（木）午後1時15分～午後3時25分

場 所：豊田市中心図書館7階会議室

出席者：豊田市図書館協議会委員 7名

豊田市中心図書館職員（事務局） 7名

1 開会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

中央図書館の効率的・効果的な運営体制について

第2回協議会の質問事項

別添資料① I C タグの費用と効果について

②コストの推移

③アウトソーシングの効果費用と利用者増

④アウトソーシングの効果（事例）

⑤豊田市中心図書館に関する業務のアウトソーシングについて
に基づき事務局より説明

（委員）

アウトソーシングになると市職員の数が減り、民間事業者が多く採用され、質の低下が心配されます。

（事務局）

現在、司書資格を持つ特別任用職員を採用していますが、アウトソーシング後も貴重な人材を積極的に残し、活用できる要件を整えていきたいと考えています。また、図書館の特性を知る運営事業者を選定し、質の低下とまらないようにもしていきたいと思っています。

（委員）

アウトソーシングの拡大により、利用者サービスの一元化をはかることでコストが抑制できる積算ですが、他にどんなメリットがありますか。

(事務局)

例えば、以前は市職員にも司書資格を取得するための研修等を受講させ、職員が資格を取得してきましたが、職員には必ず人事異動があり、他部署に異動していってしまいます。しかし、図書館の専門性を持った業者へアウトソーシングすることにより、専門性を維持することができると思っています。また、そういう業者は、広域的な研修のプログラムを持っているため、運営体制の強化が図られると考えます。

(委員)

アウトソーシングにより地域性が薄れる気がします。こうした話は、市民レベルで議論を進めなくてはいけないのではないのかと思います。

(事務局)

今後、この協議会での意見を踏まえ、教育委員会で協議して方針決定し、議会でも審議します。また、現在、図書館運営を支えてくださるボランティアとの意見交換も始めましたので、そこでの貴重な意見も取り入れていきたいと考えています。

(委員)

アウトソーシング、ICタグ導入により、貸出冊数が増える試算の説明がありました。何を根拠としていますか。

(事務局)

時間延長を導入した同規模の図書館でのデータと、昨年実施した市民アンケートの結果を踏まえ算出しています。

(委員)

時間延長はどの程度を考えているのですか。

(事務局)

今回のシミュレーションは、市の一般的な公共施設の開館時間が9時～21時であること、ネットワーク館の業務が20時までの現状を踏まえ、9時～21時で考えていますが、費用対効果も考えながら検討を進めていきます。

(委員)

アウトソーシングとICタグ導入で何が変わるのですか。

(事務局)

市民サービスの質を落とさず効率を上げること。つまり、窓口サービスの一元化を推進できます。ＩＣタグ導入だけでは窓口の貸し借りの迅速化を図ることのみとなってしまうため、司書の増員等、それに付加価値を加えた運営が期待できると考えています。

(委員)

民間の業者が様々なノウハウを持っていることは間違いないと思います。移行していくなら、どんな運営をしていくか、また、サービスが低下する心配があるならどう食い止めるかをこの場で今後議論できたらいいと思います。

(委員)

市行政の大きな枠で見ると、信用のおけるアウトソーシングにより、図書館がよくなるという判断で動いていると考えています。今後は、図書館が何かとタイアップして、多くの方を図書館に呼び込むことを検討して欲しいと思います。

(委員)

アウトソーシングを導入し、失敗してすぐもとに戻すことはできないので、具体的なデメリットを見極めながらいい方向で実現できるといいと思います。

(委員)

指定管理制度は時代の流れの中、賛成です。大きな転換となるので、図書館を今後どうしていくかしっかりと考えていきたいと思っています。

(事務局)

今後、この協議会でいただいた意見・質問等をしっかりと精査し、具体的な方向性を確立し、教育委員会の中でも議論を進めていきます。また、その結果等については、次回以降において協議会に報告していき、具体的な事項についても順次、協議していただきたいと思います。

(事務局)

以上を持ちまして、第３回図書館協議会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。